

急性膿皮症（蜂窩織炎を含む）にて点滴療法を受ける_____様へ

*急性膿皮症とは、皮膚と皮下の脂肪組織に細菌感染を起こし炎症を生じる病気です。点滴治療を行います。

ゴール目標：新しい発疹がなく、痛みの程度が3以内になれば退院できます

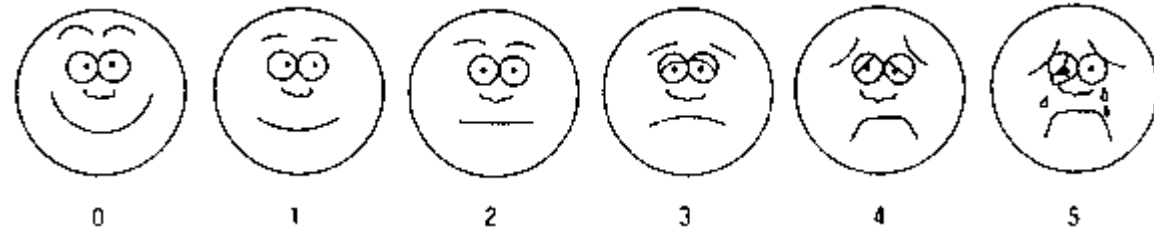
	入院日	2日目～7日目	8日目～11日目	12日目～（退院）
月日	/	/	/	/
検査 治療 処置	<ul style="list-style-type: none"> ・ 抗生剤の点滴をします 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 抗生剤の点滴を1日3回（6時・14時・22時）、もしくは2回（9時・21時）します 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師の指示で抗生剤の内服が出ることがあります 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師の許可があれば退院できます ・ 病状により退院時に薬が出ます 
安静度	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安静について指示があります 			
食事	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師に制限があるかを確認します 			
排泄	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師に制限があるかを確認します 			
清潔	<ul style="list-style-type: none"> ・ 熱がなければ、シャワー浴ができます ・ お体の状態により、体を拭きます 			
観察	<ul style="list-style-type: none"> ・ 体温・脈拍・血圧を測定します ・ 皮膚の状態（発赤・熱感など）を観察します ・ 痛みの程度を観察していきます（裏面のスケール使用） 			
その他	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入院までの経過など症状をお伺いします ・ 入院生活について看護師が説明します ・ 入院後に、入院診療計画書の説明をします 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 薬剤師が薬について説明します 		<ul style="list-style-type: none"> ・ 退院前に、看護師が裏面を使用し退院後の説明をします 
説明者				

※状態に応じて予定が変わることもあります。何か質問があれば看護師にお聞きください。

主治医() 担当看護師()

入院費は、ひと月ごとの【自己負担限度額】 + 【食事負担額】 + 【その他（個室料、診断書料など）合計です。
自己負担限度額の確認ができない場合は、本人の負担割合（1割～3割）での請求となります。
請求に関する問い合わせ先：病棟事務員（医事第一課）

疼痛スケール(痛みの程度を参照してください)



0 : 全く痛まない

1 : ほとんど痛まない

2 : 軽い痛み

3 : 中度の痛み

4 : 高度の痛み

5 : 耐えられない痛み

退院後は次のことに注意してお過ごしください。

1. 日常生活について

- ①睡眠と栄養を十分にとり、疲れやストレスが溜まらないようにしましょう。
- ②皮膚を清潔に保ちましょう。毎日、入浴してもかまいませんが熱いお湯での入浴は避けましょう。
- ③医師の指示があるまで、軟膏処置・内服は継続してください。
- ④安静については、医師の指示を守ってください。

2. 再診日以前に以下の症状や心配事がありましたら、病院へ連絡または受診をしてください。

- ①皮膚の状態が悪化した。(水疱ができた・赤みや発疹の範囲が広がった・皮膚がジュクジュクするなど)
- ②痛みが増強して、薬を飲んでも治らない。

なお、痛みや皮膚の赤みなどは、すぐに治るものではありません。詳しくは医師に確認してください。

3. 次回受診日： 月 日(曜日)

4. 連絡先

福井赤十字病院 TEL (0776) 36-3630

皮膚科外来 月～金 8:30～17:00

※上記以外の時間及び休日は**救急外来**または**入院病棟**へご連絡ください。

